



## 2期目の決意

### 所 信 表 明

8月11日に行われた市議会随時会議で、神達岳志市長が2期目の所信表明を行いました。

防災先進都市に向けた地域防災力の強化や地域振興の拠点となるアグリサイエンスバレー事業の推進など、5つの項目について所信を語りました。その要旨をお伝えします。

先の市長選挙におきまして、多くの市民の皆様のご支持をいただき、常総市長として再選することができました。市長の職を継続できることに身の引き締まる思いと、多くの課題を抱える常総市の未来繁栄のための市政運営、その責任の重さを改めて実感しております。引き続いての市政運営となりますが、これまで取り組んでまいりました施策も含め、その基本方針、理念を改めて申し述べさせていただきます。

#### ◎未来を見据えた行財政運営

現在の常総市は、依然として人口減少など厳しい状況が続いています。更に今年は新型コロナウイルス感染症の蔓延にともなう、全国・全世界的な外出自粛などにより経済も停滞している状況です。当市においても、この先も税収減少など厳しい財政状況が続くことが予想されるため、財政の一層の効率化及び効果が求められています。

今後も続くと予想される厳しい社会情勢の中、当市を更に発展をさせていくため、様々な状況に対応しつつ先を見据えた行財政運営に努めていきます。市民の皆さんの負託に的確に答えるため、ワンチームとなって市政運営を進めていきます。

#### ◎さらなる防災先進都市へ

鬼怒川緊急対策プロジェクトによる堤防整備が進むなか、自主防災組織の構築、情報伝達手段の強化など地域防災力の強化をより一層推進させるとともに、コロナ禍における避難所対応など、防災先進都市にふさわしいまちづくりを進めていきます。

#### ◎食と農と健康の新しいまちづくり アグリサイエンスバレー事業

令和5年3月にオープン予定の圏央道常総IC周辺において、アグリサイエンスバレー事業を推進します。都市エリアでは企業を誘致し市民の雇用と税収増を見込

でおり、農地エリアでは観光農園などを整備します。合わせて道の駅、民間の商業施設、都市公園などを整備し、県内外から多くの人を呼び込む交流人口拡大の拠点とするとともに、来場者を市内各地へ誘導するしくみづくりを行い、市全体を活性化させる起爆剤となるよう事業を進めていきます。

#### ◎教育環境の整備

国が進めているGIGAスクール構想による一人一台のタブレット支給によるICT教育の強化。また、小・中学校の適正配置を進め、子どもたちの教育環境の充実を図っていきます。学校跡地については、地域住民の方々の交流拠点となるよう皆さんと対話しながら有効活用を図ります。

#### ◎医療体制の強化

新型コロナウイルス感染症の収束がまだ見えない状況ではありますが、近隣自治体、医師会と連携し、さらなる医療体制の充実を図り、市民の皆さんの安全安心な生活環境の構築に努めていきます。

国や茨城県、近隣自治体との連携はもちろんですが、1期4年で築いた全国の市町村との絆をさらに強固にし、防災を含め常総市の未来発展のために様々な施策を積極的に推進していきますので、市民の皆さんのご支援とご協力をお願い申し上げます。